



にいがたのうしん

にいがた脳心センター **TOPIX**

脳卒中デーに
ビッグスワンがライトアップ



©デンカビッグスワンスタジアム

10月29日は世界脳卒中デーです。この日を含む、10月27日～11月1日の期間、ビッグスワンがライトアップされ、脳卒中のイメージカラーであるインディゴブルーに染まります。ただし、県内の脳卒中の死亡率は全国でも屈指です。脳卒中は高血圧が最も影響を及ぼします。この機会に血圧測定や日ごろの生活習慣を見直しましょう。



新潟大学医歯学総合病院
病院講師

鈴木 倫明先生

すずき・ともあき 秋田県出身。
弘前大学卒業後、東京慈恵会
医科大学、米国マサチューセッ
ツ総合病院などを経て、現職。

のうしん通信 Vol.1

脳卒中と心臓病のおはなし

脳動脈瘤が破れて起る 「くも膜下出血」

「くも膜下出血」は、脳の血管にできた「こぶ」（脳動脈瘤）が破れて起る、身近に潜む知っておきたい脳卒中のひとつです。突然、頭をハンマーで殴られたような激しい痛みが走り、時には意識を失って命に関わることもあります。脳動脈瘤は膨らんでも症状を出さないことが多く、破れて初めて気づかれたりします。破裂後はいったん出血が止まったとしても再出血を来

たして状態が更に悪化することもあり、極めて危険なため、手術で再破裂を防ぎます。手術は、こぶの根元を金属クリップで止める「開頭クリッピング術」と、血管の中からコイルを詰める「血管内治療」があります。脳動脈瘤は人によって形や位置が異なるため、一人ひとりに合わせて最適な治療法を選びます。新潟大学では、昼夜を問わずくも膜下出血の救急治療に取り組んでいます。

脳心センターによる医療コラム

「のうしん通信」は
本日朝刊生活面をご覧ください。

第1回目は

脳卒中と心臓病のおはなし

にいがた脳心センターは、新潟県内における循環器病患者の支援、普及啓発、診療ネットワークを図る組織体です。



にいがたのうしん
新潟県脳卒中・心臓病等総合支援センター

新潟県脳卒中・心臓病等総合支援センター事務局
TEL025-227-2712 月～金曜日
10:00～16:00

にいがた脳心センター

新潟県脳卒中・心臓病等総合支援センター

※にいがた脳心センター（新潟県脳卒中・心臓病等総合支援センター）は、県や医師会などと連携を取り、循環器病の患者支援、普及啓発、診療ネットワークを図る組織体で、新潟大学医歯学総合病院に設置されています。

新潟県脳卒中・心臓病等総合支援センター事務局 新潟大学医歯学総合病院患者総合サポートセンター内 〒951-8520 新潟市中央区旭町一番町番地754番地

電話・面談での **無料相談**

●県内の誰からでも幅広い相談に対応

TEL025-227-2712

月～金曜日／10:00～16:00

詳細は
ホームページを
ご覧ください。

